

中米経済概況

2015年7月
日本貿易振興機構（ジェトロ）
海外調査部 米州課

コスタリカ：2014年のマクロ経済動向

(生産)

- ・実質GDP成長率は前年比3.5%増。内需が経済成長を牽引。
- ・家計消費、政府消費、民間投資が経済成長を後押し。輸出、輸入はともに減少。

(物価)

- ・消費者物価上昇率は前年比5.13%増。中銀のインフレターゲット（4%±1ポイント）を上回った。
- ・前半はコロナ安を背景に電気、燃料価格が物価を押し上げるも後半は安定。

(貿易・投資)

- ・輸出は前年比3.1%減の112億4,050万ドル、輸入は同4.7%減の171億7,360万ドル。
- ・米半導体大手インテルの製造部門閉鎖が輸出入額を下押し。原油価格下落も輸入を下押し。
- ・外国直接投資は対外、対内ともに前年比減も、対内は国家目標の19億ドルを上回った。
- ・対内直接投資は製造業、農工業向けが伸びるも不動産向けが大幅な落ち込み。

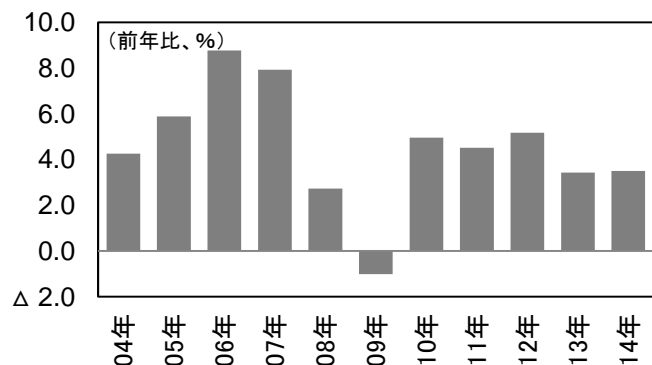
(為替レート)

- ・インターバンクレートの年末終値は1ドル541.95コロン。年初は503.58コロン。
- ・中銀の設定するバンド内で安定。急激な変動の要因となる公的機関の為替取引の制限などが奏功。
- ・インターバンク市場は2015年1月にバンド制から管理フロート制に移行し上限、下限を撤廃。

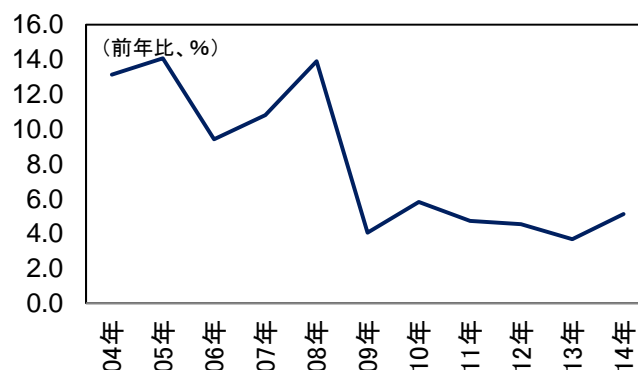
(雇用・賃金)

- ・完全失業率は前年比1.4ポイント悪化の9.7%。名目最低賃金は前年比7.5%増。

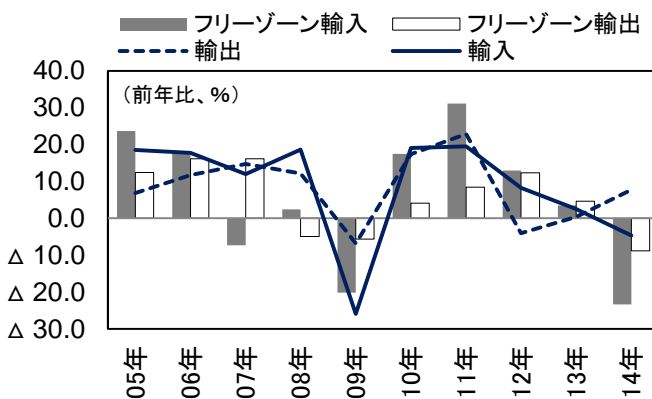
コスタリカの実質GDP成長率の推移



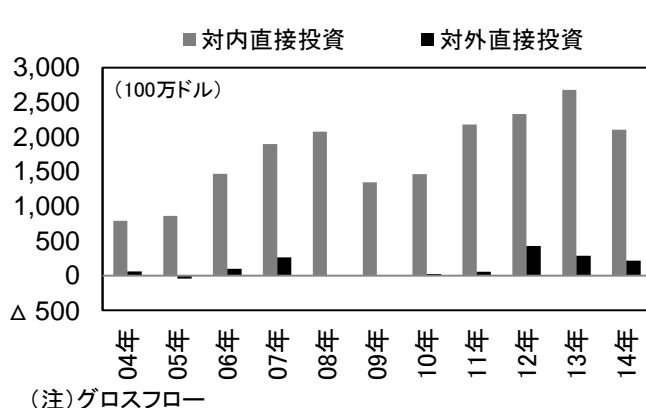
コスタリカの消費者物価上昇率の推移



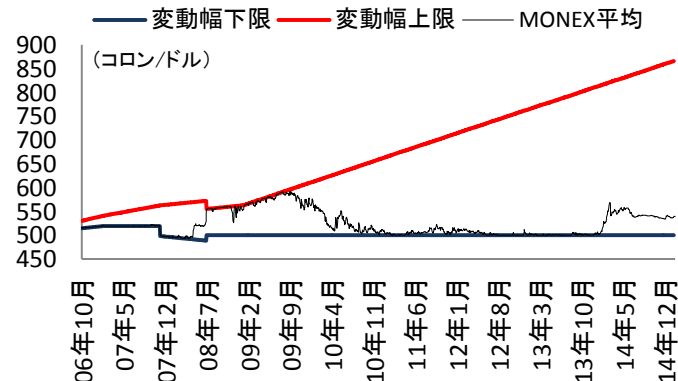
コスタリカの貿易動向



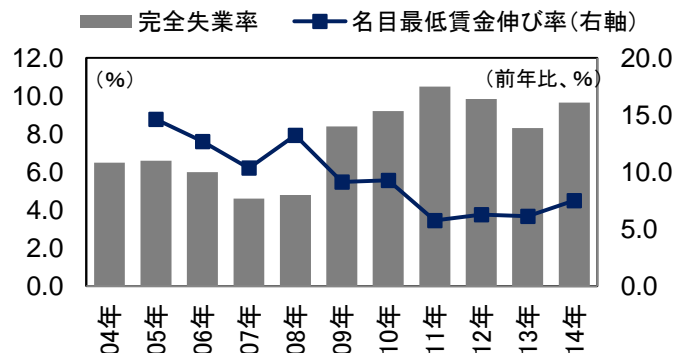
コスタリカの外国直接投資額の推移



コロン対ドルレートの推移



コスタリカの雇用・賃金の動向



(出所) 中米通貨審議会、中央銀行

パナマ：2014年のマクロ経済動向

(生産)

- ・実質GDP成長率は前年比6.2%増。
- ・進行中の大型インフラ工事はパナマ運河拡張工事のみとなり経済成長に一服感。
- ・建設業、運輸・倉庫・通信業、商業、不動産・企業サービス・賃貸業が経済成長を牽引。

(物価)

- ・消費者物価上昇率は前年比2.60%増。2010年以降で最も低い水準。
- ・バララ政権が導入した食料品22品目の価格凍結が物価の安定に寄与。

(貿易・投資)

- ・輸出は前年比3.0%減の8億1,820万ドル、輸入は同5.2%減の137億1,450万ドル。
- ・CFZの再輸出は同12.0%減の129億6,210万ドル、一時輸入は前年比12.8%減の110億6,030万ドル。
- ・CFZは、プエルトリコ、ベネズエラの景気低迷、コロンビアにおける保護貿易措置が影響。
- ・対内直接投資額は高水準も伸びは鈍化。前年の大型買収の影響乖離による。CFZ向け投資は減少。

(雇用・賃金)

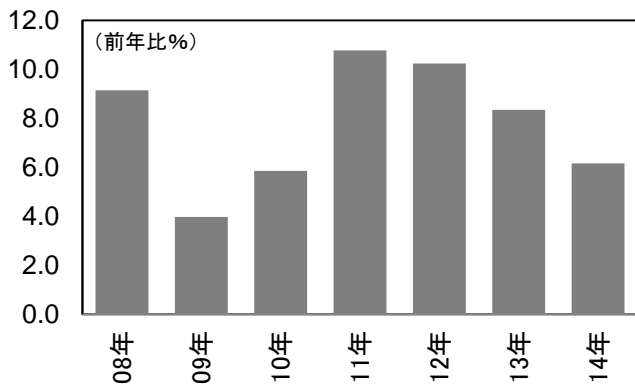
- ・完全失業率は前年比0.4ポイント増の3.5%。政権交代で国防、公共治安分野の雇用伸び悩む。

(港湾・物流)

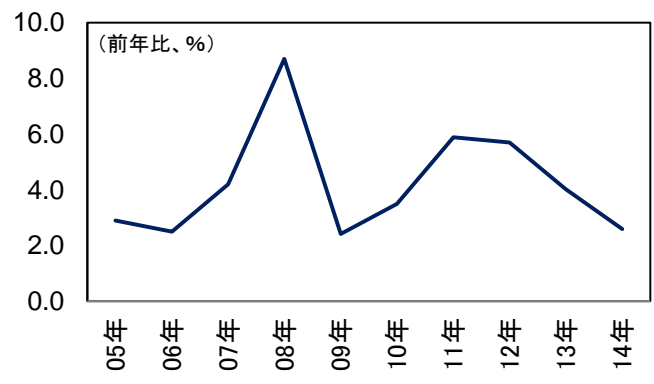
- ・パナマ運河通航船舶数は減少も通航貨物量は増加。コンテナ取扱量も増加。
- ・2014年末時点のパナマ運河拡張工事進捗率は83.9%。

(注) CFZはコロン・フリーゾーン。

パナマの実質GDP成長率の推移

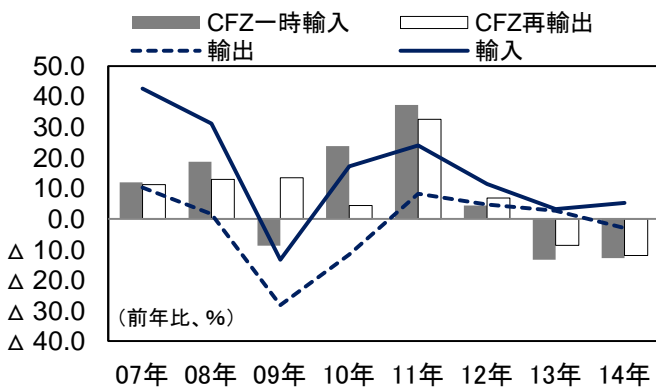


パナマの消費者物価上昇率の推移

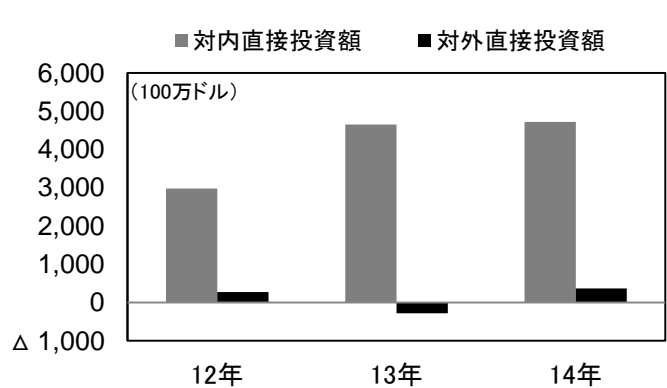


(注) 2013年まで基準年は2002年。2014年以降は2013年。

パナマの貿易動向

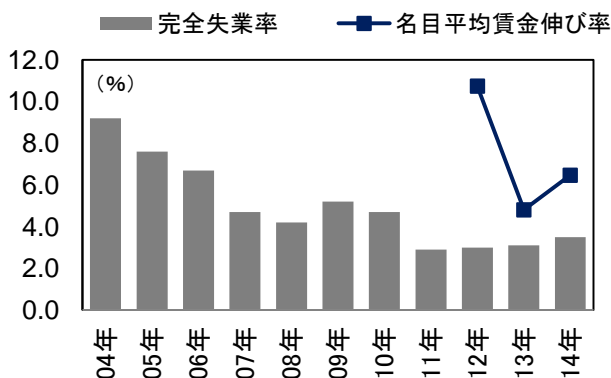


パナマの外国直接投資額の推移

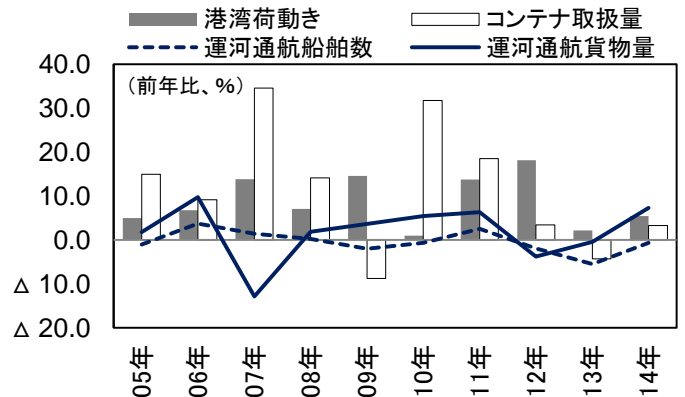


(注)グロスフロー

パナマの雇用・賃金の動向



パナマの港湾活動の動向



(出所) 会計検査院国家統計センサス局

エルサルバドル：2014年のマクロ経済動向

(生産)

- ・実質GDPは前年比2.0%増。家計消費は好調も資本形成、特に民間投資が落ち込む。
- ・生産面をみると、商業・飲食・宿泊業、製造業は好調も建設業が落ち込む。

(物価)

- ・消費者物価上昇率は前年比0.48%増。
- ・食料品は上昇するも原油価格の下落を背景に宿泊・電気・ガス・水道、輸送が下押し。

(貿易・投資)

- ・輸出は52億7,280万ドルで前年比4.0%減、輸入は105億1,310万ドルで同2.4%減。
- ・輸出減はさび病によるコーヒー輸出減、競争力低下によるマキラ繊維製品の対米輸出減が主因。
- ・対内直接投資額は2億7,500万ドルで前年比53.5%増。中米諸国では圧倒的に低水準。

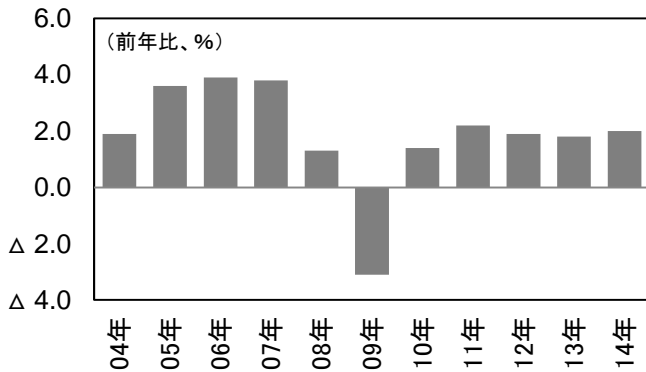
(家族送金)

- ・家族送金受入額は前年比6.3%増の42億1,720万ドル。
- ・堅調な米国経済、米国における雇用環境の改善が寄与。家計消費にプラス。

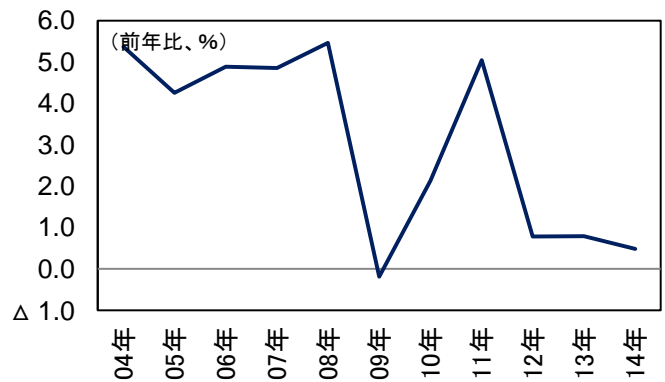
(雇用・賃金)

- ・中銀によると、2014年10月までの正規雇用者数は前年同期比10,530人増。
- ・底堅い雇用環境が家計消費を下支え。

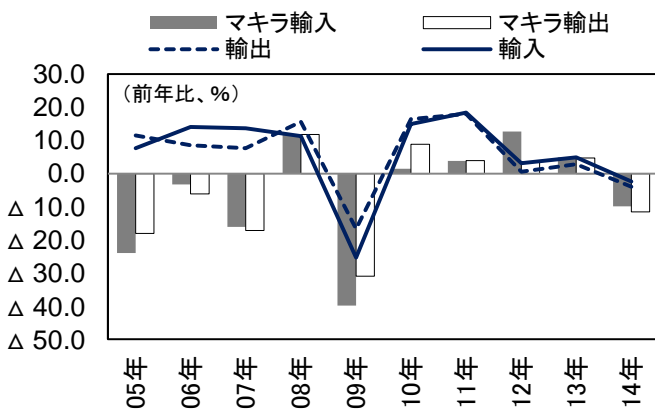
エルサルバドルの実質GDP成長率の推移



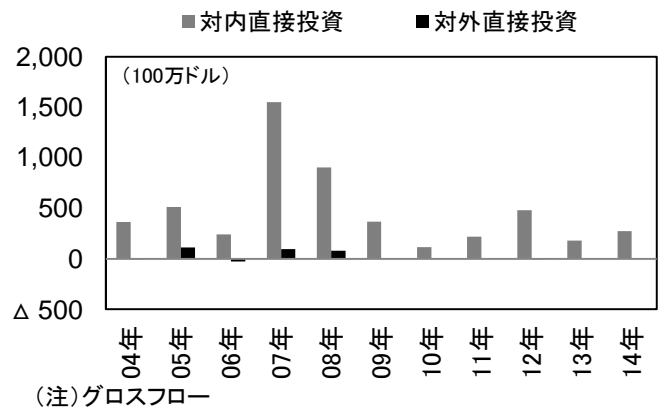
エルサルバドルの消費者物価上昇率の推移



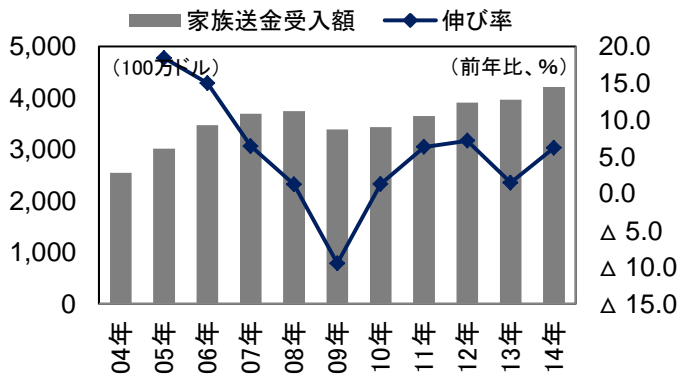
エルサルバドルの貿易動向



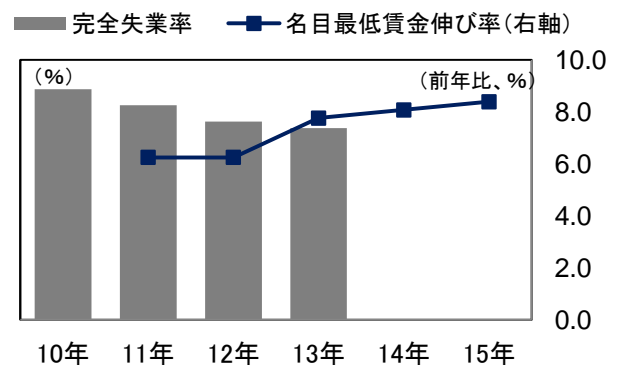
エルサルバドルの外国直接投資額の推移



エルサルバドルの家族送金受入額の推移



エルサルバドルの雇用・賃金の動向



(出所) 中米通貨審議会、中央銀行

グアテマラ：2014年のマクロ経済動向

(生産)

- ・実質GDPは前年比4.2%増。内需、外需ともに好調。特に家計消費が経済成長を押し上げ。
- ・経済活動別では鉱業、卸売・小売業、製造業が好調。

(物価)

- ・消費者物価上昇率は前年比2.95%増。インフレターゲット（4%±1ポイント）を下回った。
- ・食料品価格が年間を通じて上昇するも年後半は燃料価格が下落し、物価は安定。

(貿易・投資)

- ・輸出は前年比7.8%増の108億810万ドル、輸入は同4.4%増の182億7,750万ドル。
- ・主要輸出製品のコーヒーは、国際価格は上昇するもさび病の影響で輸出額、数量ともに減。
- ・対内直接投資額は13億8,580万ドル。国別では米国、分野別ではエネルギーが約25%を占め最大。

(家族送金)

- ・家族送金受入額は前年比8.6%増の55億2,480万ドル。家族送金の増加が家計消費を下支え。

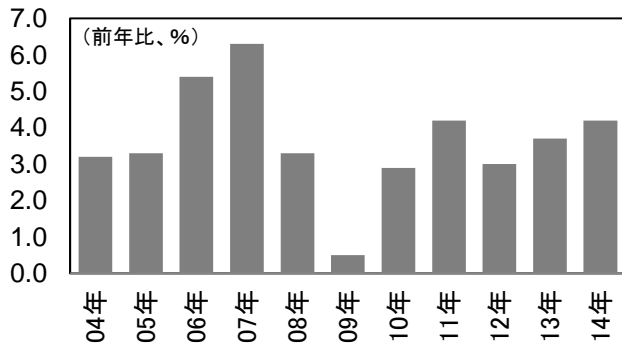
(為替レート)

- ・中銀参考レート of 年末終値は1ドル7.59ケツアル。2013年末から3.12%値上がり。
- ・家族送金受入額、輸出額の増加、輸入額の減少、国内借入から海外借入へのシフトによる。

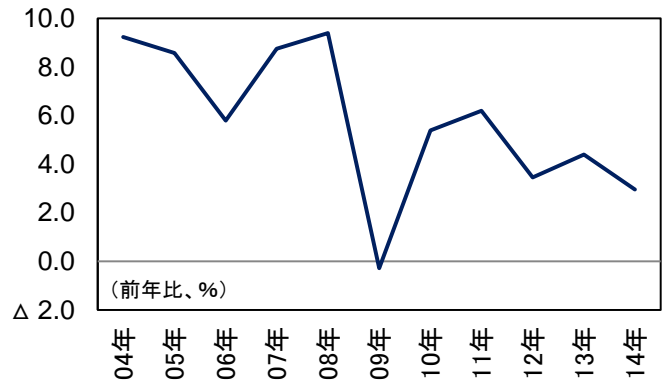
(雇用・賃金)

- ・完全失業率は前年比0.1ポイント悪化の2.9%。名目最低賃金はマキラドーラで前年比5.0%増。

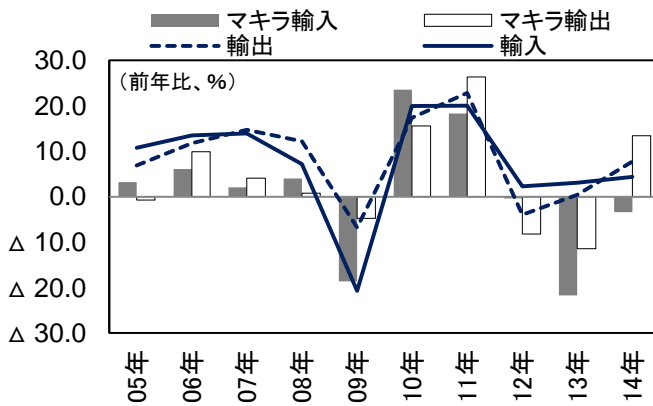
グアテマラの実質GDP成長率の推移



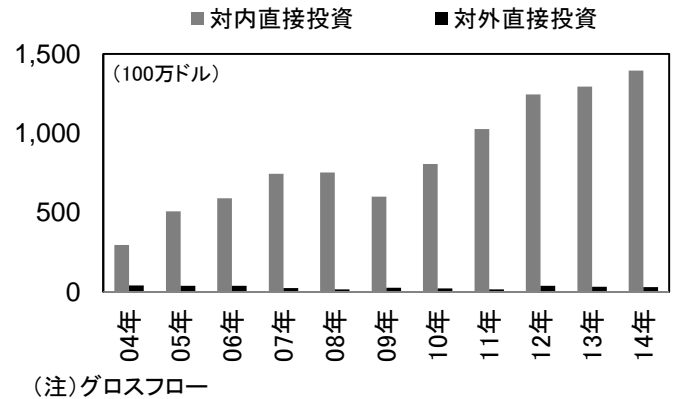
グアテマラの消費者物価上昇率の推移



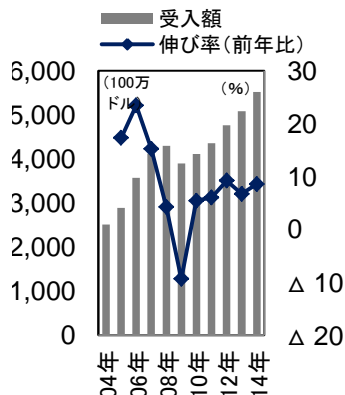
グアテマラの貿易動向



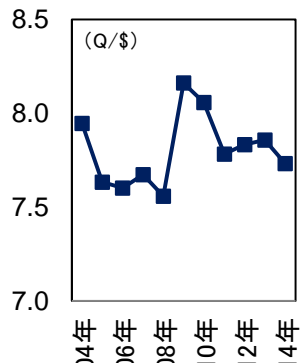
グアテマラの外国直接投資額の推移



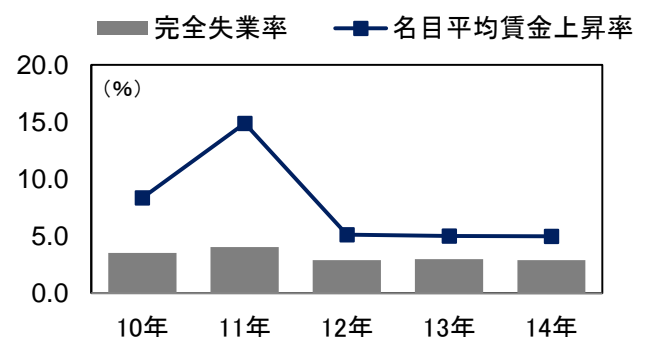
家族送金受入額の推移



ケツアルの対ドルレート推移



グアテマラの雇用・賃金の動向



(出所) 中米通貨審議会、中央銀行

ホンジュラス：2014年のマクロ経済動向

(生産)

- ・実質GDPは前年比3.1%増。内需、外需ともに寄与。家計消費が好調な反面、政府消費は不調。
- ・経済活動別では金融業、通信業、農牧業が好調。建設業は官民ともに大きく落ち込んだ。

(物価)

- ・消費者物価上昇率は前年比5.82%増。インフレターゲット（6.5±1ポイント）の範囲内。
- ・主食のフリホース豆など食料品、衣料品、住宅賃貸料、電気料金が物価を押し上げ。

(貿易・投資)

- ・輸出は前年比3.6%増の40億6,990万ドル、輸入は同1.7%増の93億1,100万ドル。
- ・コーヒーの国際価格の上昇が輸出額を押し上げ。原油価格の下落が輸入額を下押し。
- ・対内直接投資額は11億4,400万ドルで前年比7.8%増。運輸・倉庫・通信業向けが約3割。

(家族送金)

- ・家族送金受入額は前年比10.8%増の33億8,430万ドル。
- ・フロリダ州を中心とする米国からの送金が多く、堅調な米国経済が家族送金増に寄与。

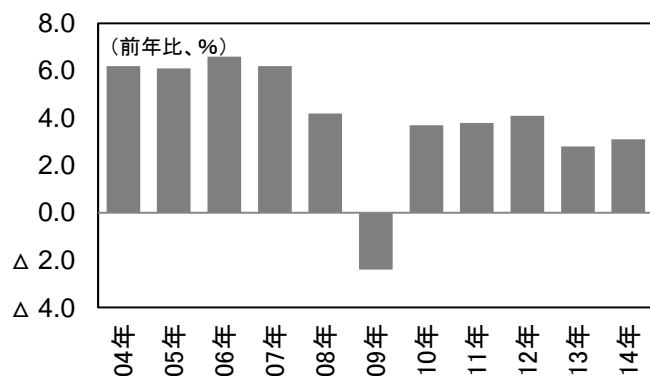
(為替レート)

- ・2014年の終値は1ドル21.06レンピーラ。中銀設定の基礎レート±7%の範囲内で変動。

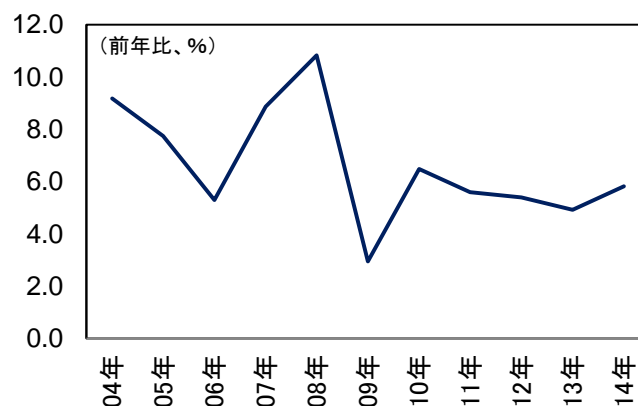
(雇用・賃金)

- ・完全失業率は未公表。名目最低賃金（製造業）は前年比7.5%増。

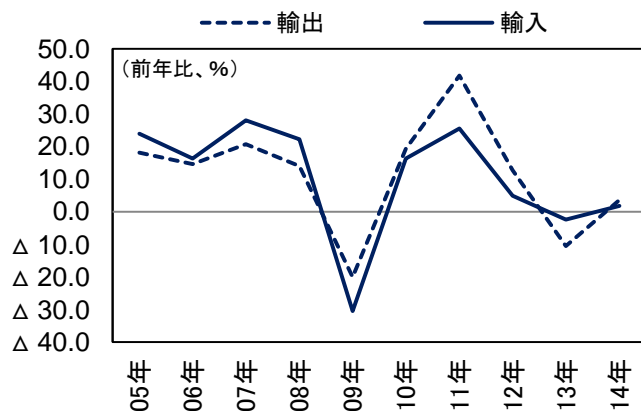
ホンジュラスの実質GDP成長率の推移



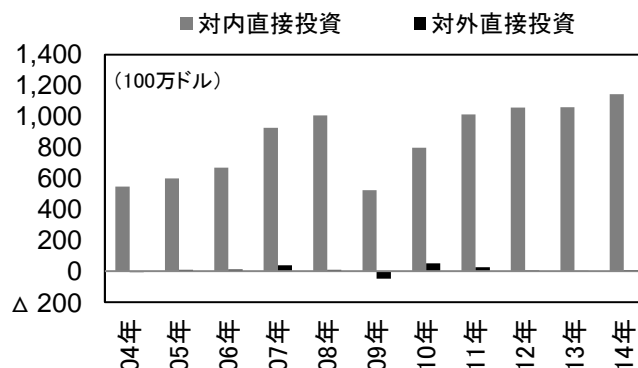
ホンジュラスの消費者物価上昇率の推移



ホンジュラスの貿易動向

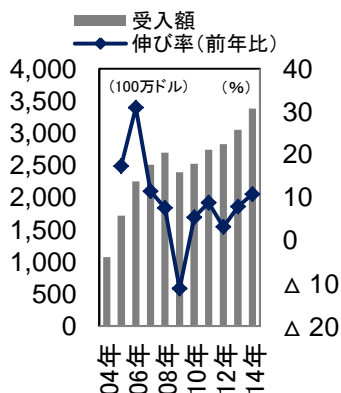


ホンジュラスの外国直接投資額の推移

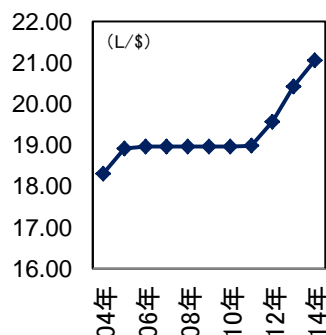


(注)グロスフロー

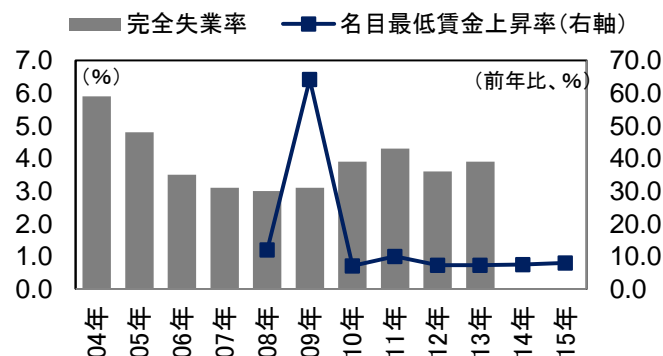
家族送金受入額の推移



レンピーラの対ドルレート
の推移



ホンジュラスの雇用・賃金の動向



(出所) 中米通貨審議会、中央銀行、労働社会保健省

ニカラグア：2014年のマクロ経済動向

(生産)

- ・実質GDPは前年比4.7%増。内需、外需ともに寄与したが、特に家計消費が好調だった。
- ・経済活動別では商業・飲食・宿泊業、運輸・通信業、製造業の寄与度が高い。

(物価)

- ・消費者物価上昇率は前年比6.43%増。気候要因による食料品価格の上昇が物価を押し上げ。
- ・前年(5.67%増)を上回るも、過去7年間の平均(7.37%増)を下回る水準。

(貿易・投資)

- ・輸出は前年比8.4%増の51億4,290万ドル、輸入は同3.5%増の73億6,940万ドル。
- ・FTA締結国向け輸出が輸出全体の81.7%、同じく輸入が70.3%を占めた。
- ・対内直接投資額は前年比3.0%増の8億4,000万ドル。製造業、エネルギー、通信業向けが主。

(家族送金)

- ・家族送金受入額は前年比5.4%増の11億3,580万ドル。
- ・約6割が米国への出稼ぎ労働者からの送金。堅調な米国経済が家族送金増に寄与。

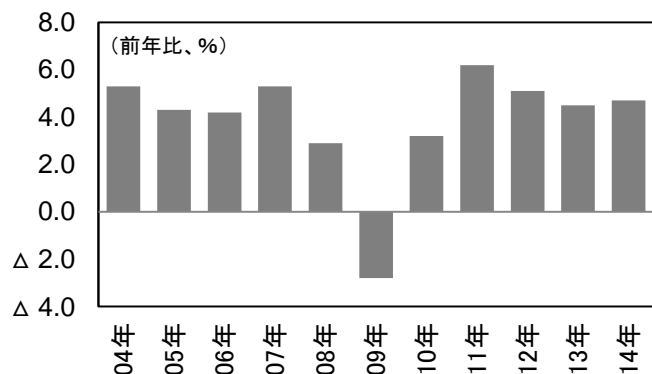
(為替レート)

- ・2014年終値は1ドル26.60コルドバ。年間5%切り下げる為替政策を維持。

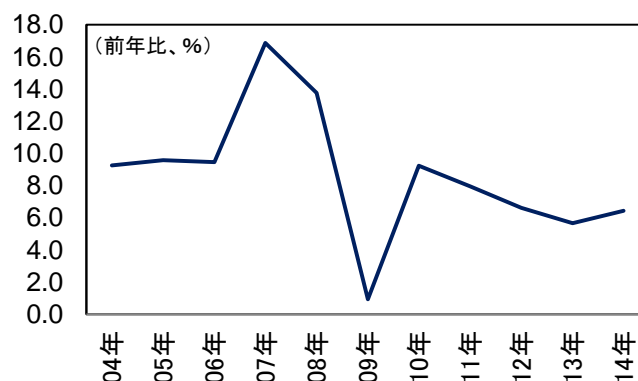
(雇用・賃金)

- ・完全失業率は前年比0.9ポイント悪化の6.8%。名目賃金は前年比9.2%増。

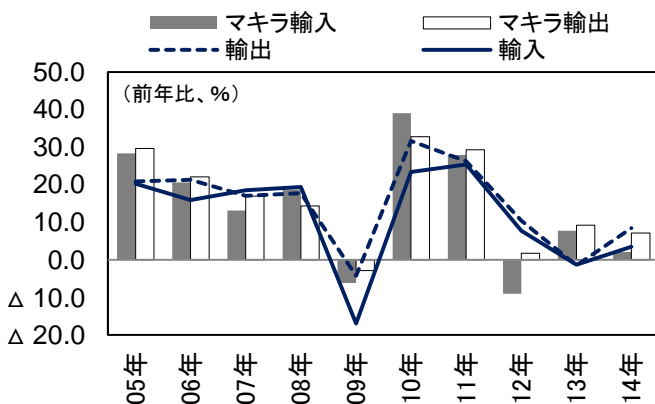
ニカラグアの実質GDP成長率の推移



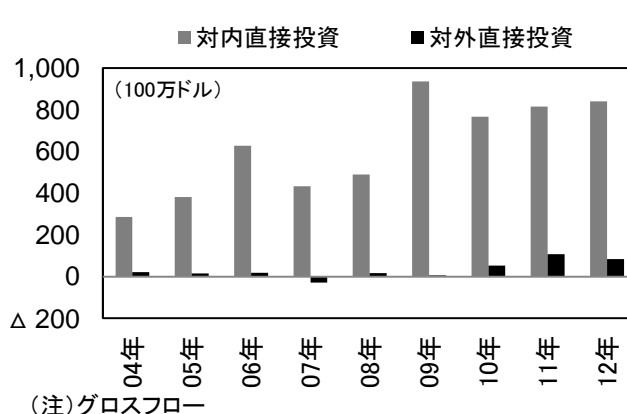
ニカラグアの消費者物価上昇率の推移



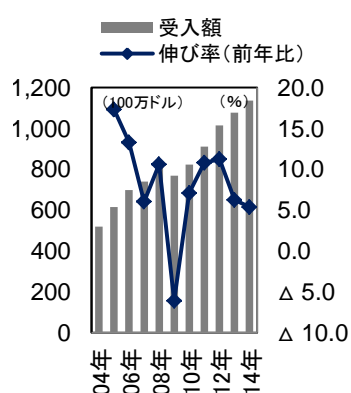
ニカラグアの貿易動向



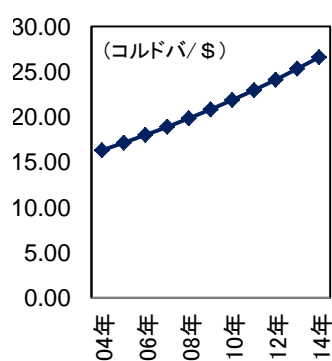
ニカラグアの外国直接投資額の推移



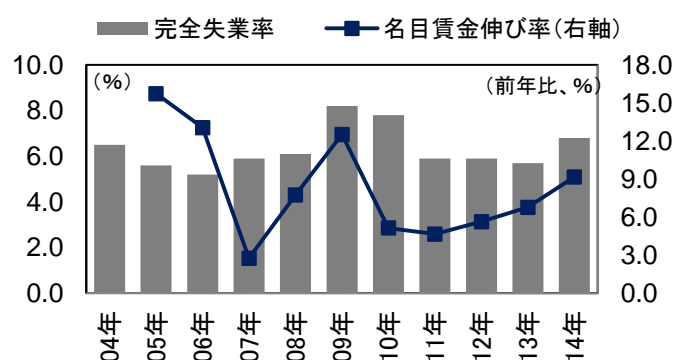
家族送金受入額の推移



コルドバの対ドルレート
の推移



ニカラグアの雇用・賃金の動向



(出所) 中米通貨審議会、中央銀行

2015年の経済見通し

(コスタリカ)

- ・2015年中銀の実質GDP成長率見通しは前年比3.4%増、インフレターゲットは4%±1ポイント。
- ・内需が成長を牽引。外需は電子機器の落ち込みにより輸出が伸び悩む。

(パナマ)

- ・2015年の経済財務省の実質GDP成長率見通しは前年比6.0%増。新規の大型インフラ工事が牽引。
- ・政府による食料品の価格統制は継続。消費者物価は低い伸びに留まる見通し。

(エルサルバドル)

- ・2015年中銀の実質GDP成長率見通しは前年比2.2~3.5%増。
- ・港湾運営、空港拡張のコンセッション方式の入札不調。インフラ整備の先行きに暗雲。

(グアテマラ)

- ・2015年中銀の実質GDP見通しは前年比3.6~4.2%増。インフレターゲットは同4%±1ポイント。
- ・9月6日に大統領選含む総選挙。与党によるバラマキも経済成長押し上げ要因に。

(ホンジュラス)

- ・2015年中銀の実質GDP見通しは前年比3.3~4.3%増、インフレターゲットは同5.5%±1ポイント。
- ・グアテマラと関税同盟。税関の統合始まる。大規模な汚職問題が発覚。

(ニカラグア)

- ・中銀による見通しは実質GDP成長率が前年比4.5~5.0%増、消費者物価が同6.0~7.0%増。
- ・2014年末に米国の非原産繊維製品特惠関税割当 (TPL) が失効。繊維製品輸出への影響あり。

2015年の経済見通し (2015年6月時点)

	実質GDP成長率 (%)	消費者物価 (%)	輸出額伸び率 (%)	輸入額伸び率 (%)	家族送金受入額 (100万ドル)
コスタリカ	3.4	4±1	△ 9.2	△ 3.9	559
パナマ	6.0	n. a.	n. a.	n. a.	n. a.
エルサルバドル	2.2 ~3.5	n. a.	n. a.	n. a.	4,217
グアテマラ	3.6 ~4.2	4±1	5.5	3.0	5,988
ホンジュラス	3.3 ~4.3	5.5±1	7.5	4.9	3,408
ニカラグア	4.5 ~5.0	6~7	△ 10.3	△ 3.5	1,188

(出所) 中米通貨審議会、各国中央銀行、パナマ経済財務省

2014年の主要経済指標

	コスタリカ	パナマ	エルサルバドル	グアテマラ	ホンジュラス	ニカラグア
人口 (100万人)	4.78	3.93	6.35	15.87	8.26	6.22
面積 (Km ²)	51,100	75,420	21,040	108,890	112,490	130,370
名目GDP (10億ドル)	48.144	43.784	25.329	60.422	19.511	11.707
1人当たり名目GDP (ドル)	10,083	11,147	3,988	3,807	2,361	1,881
貿易収支 (100万ドル)	△ 5,207	△ 8,147	△ 5,208	△ 6,058	△ 2,998	△ 2,402
経常収支 (100万ドル)	△ 2,429	△ 5,258	△ 1,194	△ 1,387	△ 1,444	△ 838
外貨準備高 (100万ドル)	7,211	n. a.	2,661	7,333	3,517	2,154
公的債務残高 (グロス、100万ドル)	29,245	18,231	15,698	14,273	8,368	5,802
家族送金GDP比 (%)	0.5	n. a.	16.6	9.4	17.2	9.6
公的債務残高GDP比 (%)	58.3	39.5	62.4	24.3	42.6	49.2

(出所) 中米通貨審議会、各国中央銀行、パナマ経済財務省、国際通貨基金

【免責条項】

本調査レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェットロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本調査レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェットロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

「中米経済概況」

2015年7月
独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ）
東京都港区赤坂1丁目12番32号
アーク森ビル私書箱 528 号
〒107-6006 電話 (03) 3582-4690（海外調査部米州課）

禁無断転載